

現場フオーカス

美しい自然を子どもたちにも負けず361日ごみ収集

世の中に欠かせない大切な仕事である、ごみ収集事業。

愛南町でごみ収集事業を担っている(株)ネクステージ愛南(町委託業者)では、正月三が日と11月3日の地方祭の日を除く年間361日もの間、休まずごみを収集しています。

現場では、町の清潔な環境を維持するため、安全・安心をモットーに日々業務の効率化に取り組む姿がありました。



- ①パッカー車が路上に1分以上停車すると、その情報がGPS機能を使って城辺の本社事務所に送られていきます。事務所では、現在稼働しているパッカー車の台数や軌跡をリアルタイムに確認することができ、ごみの収集漏れを防いでいます
- ②車内に備えられた大きなバックモニターで死角をなくし、安全運転を行います



安全に、
そして効率的に

「オーライ、オーライ、ストツプ！」サイドミラーをたたんだごみ収集車(パッカー車)が合図を頼りに、ごみステーションの横に正確に停車しました。運転しているのは、2年前の(株)ネクステージ愛南(ネクステージ)の設立時から勤めている久保貴茂さん。久保さんは、安全確認を行ったあと、すぐに車から降りて、先にごみステーションからごみを運び出している宇都宮勝彦さんのフォローに向かいました。

1か月ほど前から一緒にごみの収集を行っているという久保さんと宇都宮さん。主に久保さんがドライバーを務め、宇都宮さんがごみの収集作業を担当します。ごみが多いと、久保さんも運転席を離れて収集作業に当たりますが、ごみの数が少なかったり、ステーションの入り口が狭いと「かえって邪魔になることもあるので、慣れるまでは見極めが難しいです。」(久保さん)



ごみ袋をしっかりと結んで ごみステーションを 清潔に保ちましょう

ごみ袋を結んだ時にすき間があると、中身が出て周囲を汚したり、ごみが散乱してごみステーションの利用者の迷惑となります。

中身がこぼれたり、はみ出たりしないよう、袋の口をしっかりと結んでください。



株式会社ネクステージ愛南

2017年4月設立。高平光宣^{タカヒロミツ}
代表取締役社長

主に愛南町内の家庭系ごみの収集運搬を町から受託して行っている。安全・安心をモットーに年間361日稼働して、町内のごみを宇和島地区広域事務組合環境センターに搬入している。2018年9月に事務所を旧城辺給食センターに移転した。



ごみの収集作業を終えて、静かにゴミステーションを閉じる宇都宮さん。早朝は、特に音が出ないように気を付けて作業すると言います

久保さんは、宇都宮さんがごみステーションから運び出してくるごみ袋を受け取ると、次々とパッカー車に投入していきます。リレー形式で20個ほどあつたごみをすべて取り終えらると、宇都宮さんはステーションの入り口を静かに閉じて助手席に。久保さんは再び運転席に座るとサイドミラーを元に戻して、最後の安全を確認したあと、次のごみステーションに向けて出発しました。その間およそ1分。パッカー車を道路上に停車して作業を行うため、安全を最優先にしながらも、効率を追求した作業が行われています。



パッカー車にテンポよくごみ袋を投入する宇都宮さん。中には重たいごみ袋もあるので、力任せではくたびれる。コツが必要だと言います

美しい自然を 子どもたちに

ネクステージは、町内の3社が出資する形で、2年前に誕生しました。従業員は16人。安全・安心をモットーに9台のパッカー車で町内のごみを収集して宇和島市にある宇和島地区広域事務組合環境センターへ運んでいます。

「とにかく安全に運ぶことが最優先です。その上で、IT技術を導入するなどして業務の効率化を図っています。ネクステージはまだできたばかりの会社ですが、愛南町の美しい自然を子どもたちに残そうという思いを持って、日々業務に取り組んでいます。」代表の高平光宣さんは力を込めます。



子どもたちに愛南の美しい自然を残したいと話す高平光宣代表取締役社長

変わったごみ袋 容量は2倍に

1年半前にごみの搬入先が、それまでの愛南町の環境衛生センターから宇和島市の環境センターへ変わり、ごみの分別方法やごみ袋も変わっています。

ごみ袋は現在2種類のサイズがあります。「大きなサイズのごみ袋は以前の袋に比べて、倍ほど入ります。だから収集作業も力任せではくたびれてしまう。少しコツが必要ですよ。中にはどうやってここまで持ってきたんやろというくらい重たいものがありますよ」と笑う宇都宮さん。

高齢者が重そうに運んでいるごみ袋を途中で受け取ることもよくあるそうです。

久保さんは「特に困るのが袋の入り口をしつかり結んでいないものですね。運んでいる途中で中身が出てしまい、片付けが大変だったことがあります。ごみステーションが汚れることもあるので、袋は交差させてしっかりと結んでいただきたいと思います」と話します。

資源ごみの分別にご協力ください



ペットボトル



ペットボトルマークのついたものに限りリサイクルが可能です。

ラベル・キャップをはずして、中を洗ってから出しましょう。汚れのひどいもの、テープ・塗料が付着したもの、ペットボトルマークのないものは、可燃ごみとして出してください。



ビン・缶類

フタをはずして、中を洗ってから出しましょう。スプレー缶・カセットボンベは必ず使い切り中身を空にしてから出してください。

愛南町公式ホームページ

愛南町 ごみ分別 検索



ごみ分別表は
こちらから
ご覧いただけます



環境衛生課
横前 秀樹 主事

生ごみ処理容器の補助金 をご利用ください

過 去に補助を受けて生ごみ処理容器を購入している場合、次の年数が経過しているときは、再度補助の対象になります。

コンポスト	3年
電気式生ごみ処理機	5年

補助金を申請する方は、生ごみ処理容器の購入前に環境衛生課または各支所に申請書を提出してください。

愛南町公式ホームページ

愛南町 生ごみ処理 検索



問：環境衛生課 TEL：72-7316

最適なルート 全体で追求

久保さんたちの仕事は、朝早くから始まります。取材したこの日は、6時前に城辺の本社を出発して、由良半島の網代地区から内海地域のごみの収集を行ってきました。内海地域の最後となる柏崎地区を走っていると、久保さんが「今だいたい2・5トほど積んでいます」と教えてくれました。表示が出るわけではありません。ごみを投入したときのパッカー車の回転板の音でわかると言います。

パッカー車に積むことができるごみの量は3・2ト。「これから（城辺地域の）土居、瀬戸谷、三島あたりまで行きます。」という久保さん。別のパッカー車とも状況を共有しながら、全体的にもっとも最適なルートで回収します。

ごみ収集の現場では、安全・安心へのこだわりと熟練の技、そこにIT技術が加わって日々業務の効率化への挑戦が行われています。なにより「美しい自然を子どもたちに」という会社の理念を共有する社員が一丸となって、きれいな町を支えています。